



ぶぜん

市議会だより

August 2009 No.65

主な 内容

- ◆ 6月定例会議案審議結果 ···· 2P
- ◆ 議案の概要 ······ 3P
- ◆ 一般質問 ······ 4P~
- ◆ 議会制度調査特別委員会を設置 12P

文教厚生委員会 求菩提棚田視察



平成21年6月定例会 議案審議結果

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果	
議案第33号	豊前市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全会一致	可決
議案第34号	地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件に関する条例の制定について	総務	全会一致	可決
議案第35号	豊前市景観条例の制定について	産業建設	全会一致	可決
議案第36号	専決処分について（豊前市税条例の一部を改正する条例の制定について）	総務	賛成多数	承認
議案第37号	専決処分について（豊前市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について）	文教厚生	全会一致	承認
議案第38号	豊前市道路線の認定について	産業建設	全会一致	可決
議案第39号	専決処分について（平成21年度豊前市老人保健特別会計補正予算 第1号）	文教厚生	全会一致	承認
議案第40号	専決処分について（平成21年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算 第1号）	産業建設	全会一致	承認
議案第41号	平成21年度豊前市一般会計予算	全委員会	全会一致	可決
意見書案 第1号	障害者自立支援法の抜本的な改正を求める意見書(案)の提出について	文教厚生	全会一致	可決
意見書案 第2号	国直轄事業負担金の廃止を求める意見書(案)の提出について	産業建設	賛成多数	継続審査
請願第1号	教育予算の確保と充実を求める意見書の提出に関する請願	文教厚生	全会一致	一部採択
同意案第1号	豊前市公平委員会委員の選任について	—	全会一致	同意
同意案第2号	豊前市固定資産評価員の選任について	—	全会一致	同意
同意案第3号	豊前市固定資産評価審査委員会委員の選任について	—	全会一致	同意
決議案第1号	北朝鮮の核実験及びミサイル発射に抗議する決議について	—	全会一致	可決
選挙第1号	福岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	—	指名推選	
選挙第2号	上毛町外一市一町矢方池土木組合議会議員の選挙について	—	指名推選	

議案の概要

平成21年第2回定例会は、5月29日から6月17日までの20日間の会期で開催されました。本定例会には、条例5件、予算3件、その他の案件1件の合わせて9議案が提出されました。提出された議案は、それぞれ所管の常任委員会で慎重に審査され、すべての議案を原案どおり可決しました。

“豊前市景観条例” が制定されました

この条例は、自然と歴史が調和した景観を守り、将来の世代に継承していくことを目的として新たに制定されたものです。

今回、まず求菩提地区の文化的景観を指定するとのことです。

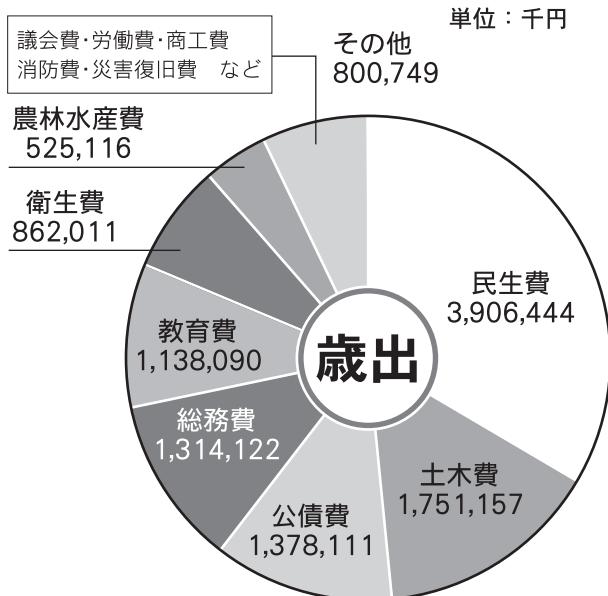
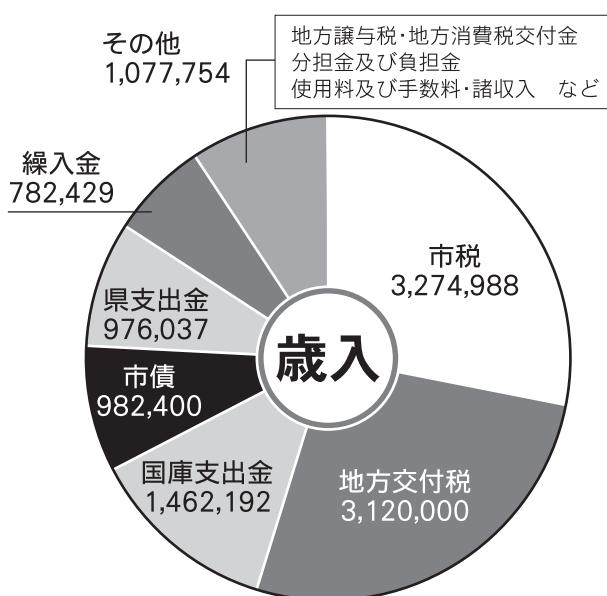


意見書案は、2件が議員提案され、1件は可決、1件は継続審査となりました。また、一部採択となりましたが、一部採択となりました。請願が1件出ていました。

市長から人事案件3件が出されました。議員運営委員会から、決議案が出され、「北朝鮮の核実験及びミサイル発射に抗議する決議」を全会一致で可決しました。これについては、内閣総理大臣に送付しました。また、選挙2件が行われ、指名推選により選出されました。

平成21年度 一般会計予算が決まりました!!

平成21年度予算は、前年度比2.9%増の総額116億7580万円です。



市税は、景気悪化の影響で、前年度比2.9%減少していますが、景気対策・雇用対策等の関係で国庫支出金、県支出金は、それぞれ、9.2%、28%増えています。

選挙関係

指名推選により選出されました。

※福岡県後期高齢者医療
広域連合議会議員

豊前市長 釜井 健介

※上毛町外一市一町
矢方池土木組合議会議員

○三毛門地区(5名)
木下正幸 倉垣 靖
繁永榮一 橋本貞男
鳥谷嚴宣

○黒土地区
入江和彦 祐徳勝行
有吉次夫 園田良博
木下研一 行平裕通
村上元彦

同意案件

市長の提案に対し、全会一致で同意しました。(敬称略)

※公平委員会委員
豊前市大字畠中
増田 圭次

※固定資産評価員
豊前市大字赤熊
石橋 正昭

※固定資産評価員
豊前市大字大西
義間 一彦

平成21年第2回(6月)定例会 一般質問

今回、12人が市の一般事務について質問をしました。

6月8日(月)	6月9日(火)	6月10日(水)
山崎議員 安心安全な生活支援 1次産業の振興 地球温暖化対策	古川議員 防災 市町村合併の今後 環境問題 市の補助団体等の監査	山本議員 後期基本計画の目標達成
爪丸議員 市長の公約 社会保障問題 地方財政健全化法	吉永議員 世界同時不況の影響	榎本議員 規律ある行財政運営 都市基盤整備と道路整備 学習指導要領と教育指導 計画
今本議員 市税の徴収・滞納指導 高齢独居者への取組み 老老介護の実態と支援 週学習指導計画の作成 中国通山県との交流	福井議員 介護支援制度 防火体制 子育て支援	岡本議員 農業の振興 市営住宅 今後の計画 庁舎・周辺施設の利便性
尾家議員 公共工事の入札問題 アサリ貝養殖事業	鎌田議員 グリーンニューディールと スクールニューディール 校庭の芝生化 父子家庭への取組み レジ袋削減の取組み	尾澤議員 人口増対策 学校教育の充実 定住自立圈構想の進捗 状況

議員 まちづくり課長 豊前商工会議所より、5月8日から発売し、5月18日に完売したとの報告があった。現在は、商店関係や市民への経済効果の分
議員 プレミアム付き商品券の発売状況についてお聞きしたい。

財務課長 (5月末現在)
 ・申請状況 1万781件
 ・振込状況 1万665件
 未申請・宛先不明等が843件あり、広報掲載、案内状の再送付、宛先調査等を行つているところである。

議員 他市に先駆けて「緊急生活支援対策本部」を立ち上げたが、その後の支援経過・成果についてお聞きしたい。
 総務課長 今日の経済状況を確認し、各課より現状把握をしている。また、雇用問題・公共工事の前倒し・地場産業の製品使用等の対策を話し合い、行政として色々な取組みをしているところである。

1 安全・安心な市民生活における支援について

山崎議員の質問

2 第1次産業の振興について(食育・地産地消)

市民健康課長 5月1日、「新型インフルエンザ対策本部」を設置し、情報収集・提供を行つた。また、感染防止対策のお知らせを市内全戸に配布したり、マスクの備蓄を行つて啓発し、感染防止に努めていきたい。

議員 京築広域市町村圏事務組合の条例で、本年6月1日、既存住宅にも火災報知器設置の義務付けが施行されているが、豊前市での設置状況また独居高齢者や障害者世帯への一部助成をしてはどうか。

3 地球温暖化対策について

農林水産課長 耕作放棄地は約114ha。そのうち復元可能な農地は約26haある。



教育長 米飯給食が週4回と踏まえ、今後の商店街活性化に役立てていきたい。

地場産物については、20年度14・3%の使用で、お米については、100%使用している。今後も関係機関と協議し、食材の種類や量を増やしていきたい。

前向きに検討していきたい。

議員 低消費電力のエコ電化製品に対して、エコポイント制度の実施が始まつたが、その内容についてお聞きしたい。

環境課長 今年の5月15日より4つ星相当のエアコン・冷蔵庫・地上デジタル放送対応テレビの購入に対してエコポイントが付与される。また古い家電をリサイクルする場合はリサイクル料金相当分程度のエコポイントが追加される。現在、エコポイントの引き換え商品等システムについては7月に概略発表される予定である。



宇島駅

非常に困難であつたが、定住自立構想の中では、かなり簡素化され、スピード感を持つ取り組める。

議員 平成12年度に、介護保険制度がスタートし、豊前市は福岡県広域連合に加入している。給付水準に大きな格差があるため、高い順にABCとグループ分けをしているが、豊前市は現在どのグループか。

副市長 その点についてもJR九州と協議をしてきたが、調査の結果、大丈夫とのことだつた。

議員 中津市民病院への市バスの乗り入れについて、どこを経由していく予定か、またいつから実施するつもりか、お尋ねしたい。

市長 この件については、定住自立構想事業の中で実現したい。中津市は、4月30日に中心市の宣言をしている。

本市としては、9月議会又は12月議会の議案提出を目指す。

議員 市バスは、路線を変更するだけでも規制が厳しいようだが、県境を越えるのは大丈夫か。

副市長 JR九州が事業主体となつて、国土交通省に対し、平成21年度の国の補助事業として申請している。跨線橋にエレベーターを設置することになる。

議員 跨線橋もかなり古いようなので、この際それも一緒にやりかえてはどうか。

2 社会保障問題について

市民健康課長 広報で未受診者に対し呼びかけをしたり、内を予約した方が受診しなかつた場合は電話で再度受診の案を図りたい。

議員 の滞納は、どのくらいあるのかお尋ねしたい。また、どのような対応をしているのか。

税務課長 平成19年度決算で市民税が1億4411万、固定資産税が3億4441万、軽自動車税が1635万、国保税が3億1615万となつてある。納期までに納付されない場合、督促状等を送付し、差押えや公売等の法的措置を講じている。今後、学校と連携し、租税教育に取り組んだり、福岡県との合同徴収も行う予定で、徴収力の向上を図つていきたい。

3 地方財政健全化法に関する問題について

議員 農業集落排水施設事業会計の、19年度の歳入は一般会計からの繰入金が87%を占めている。見直すべきではないか。

建設課長 市営住宅使用料の滞納については、2366万となつてある。滞納者に対しては納付指導を行い、実情を見極めながら、提訴に踏み切つている。

上下水道課長 この事業の廃止をし、公共下水道事業への統合を検討している。

議員 伊良原ダムが完成すれば、1日2670トンの水を新たに契約しなければならないが、今後どのように考えているか、お尋ねしたい。

建設課長 市営住宅使用料の滞納については、2366万となつてある。滞納者に対しては納付指導を行い、実情を見極めながら、提訴に踏み切つている。

1 市長の公約について

爪丸議員の質問

議員 宇島駅のエレベーター設置に関する具体的な取組みについてお聞きしたい。

副市長 J.R九州が事業主体

として申請している。跨線橋にエレベーターを設置することになる。

議員 跨線橋もかなり古いようなので、この際それも一緒にやりかえてはどうか。

今本議員の質問

1 市税の徴収実績と滞納者に対する指導について

議員 高齢独居者への安心・安全な取組みについて

議員 65歳以上の独居世帯に対する対応、市はどのような対応をしているか、お聞きしたい。

福祉課長 平成21年4月時点では、65歳以上の独居世帯数は1117世帯となつていて、

議員 従来のやり方では、して合意に基づいて行わなければならぬということで、

議員 跨線橋もかなり古いようなので、この際それも一緒にやりかえてはどうか。

2 安心・安全な取組みについて

議員 独居高齢者世帯に対する取組みとしては、配食サービス、緊急通報装置の貸与、訪問理

議員 従来のやり方では、して合意に基づいて行わなければならぬということで、

議員 跨線橋もかなり古いようなので、この際それも一緒にやりかえてはどうか。

3 地方財政健全化法に関する問題について

議員 特定検診の受診率を平成24年度には65%を達成しないといけないが、平成20年度は目標の半分20%しかいていない。集団検診だけでなく、個別検診ももっと積極的に取り組んでいくべきではないか。

議員 従来のやり方では、して合意に基づいて行わなければならぬということで、

議員 跨線橋もかなり古いようなので、この際それも一緒にやりかえてはどうか。

4 市税の徴収実績と滞納者に対する指導について

議員 高齢独居者への安心・安全な取組みについて

議員 65歳以上の独居世帯に対する対応、市はどのような対応をしているか、お聞きしたい。

福祉課長 平成21年4月時点では、65歳以上の独居世帯数は1117世帯となつていて、

議員 独居高齢者世帯に対する取組みとしては、配食サービス、緊急通報装置の貸与、訪問理

見守りや声かけなどを行つて
いる。

議員 緊急時のための医療情報報などを入れておく保管容器の配布について検討していた

だきたい。



③ 老老介護(者)の実態と支援について

議員 75歳の人が100歳を超える人を介護しているといふケースもあるようだ。高齢者が高齢者を介護する「老老介護」の問題だが、市としてもできる限りの支援をしてはいかがか。

福祉課長 100歳以上に限つては、21年度で100歳以上の方は24名おり、そのうち

在宅で家族と同居は5名で、世帯の増加が見込まれ、要介護者はもとより、介護者についての相談や状況把握に努め、必要な支援を行つていきたい。

④ 週学習指導計画の作成について

議員 3月定例議会以降、週学習指導計画案の作成状況はどうになつてあるか。

教育長 各小・中学校では、週学習指導計画を作成し、その点検評価が定着してきている。その結果、明らかになつた課題について、組織的な解決を図るなど、引き続き取組みを進めていきたい。

⑤ 中国通山県との交流について

議員 豊前市は、この10年間、通山県と仲良く交流をやつてきた。中国は、今世界経済の大きなポイントを握っている。中国語の勉強をしたり、市内に来ている中国人と一緒に招いて感謝の集いをしては、いかがか。

市長 通山県から今月来訪予定だが、今回は、農業視察も組み込まれている。その反応を見ながら、ご提案の点について検討してみたい。

尾家議員の質問

① 公共工事の入札問題について

議員 先の議会で「入札方法の改善を検討する」との答弁があつたが、その結果をお知らせ願いたい。

副市長 6月から次の3点について見直しを行う。

① 条件付一般競争入札の対象工事金額を1000万円から500万円に引き下げる。

② 業者ランクによる参加要件を、3000万円以上の工事はAランク業者。1000万円以上3000万円未満はA、Bランク業者。500万円以上1000万円未満はB、Cランク業者とする。

③ 最低制限価格の事前公表を事後公表に改める。

議員 工事の絶対量が少ないため、「豊前市の発注工事は1000万円前後で、地元優良業者に分割発注を基本とする」と理解していたが、先に行つた入札では35000万円と大口で入札にかけていた。その理由を伺いたい。

業で会計検査の対象案件であることなどを考慮し、今回の入札となつた。ご理解願いたい。

議員 入札結果は6件で1億7千万円、予定価格に対する落札率は94・75%。

95%ルールとは、落札予定業者のみがこれを下回る金額で入札し、業者間の事前のすり合わせがなくとも、落札で競争の仕組みで、談合を巧妙に隠蔽する悪質な新手の談合といわれている。執行部の見解を求める。

副市長 前述の改正を行つたが、透明性の確保、公正な競争の促進、不正行為の排除の徹底等方策を更に研究したい。

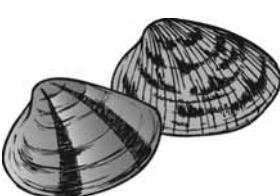
議員 公共工事から暴力団、談合仕切り屋、不良・不適格業者を排除しなければならないが。

市長 幸い暴力団は市内にいないと思うが、今後、東九州道等の大型工事も予想され、警察、関係団体と組織を作らべく調整中である。

の養殖事業に対しても、成貝の蓄養事業に対してか伺いたい。

農林水産課長 稚貝の購入に對して補助金を出している。

議員 購入の記録写真を見る



② アサリ貝養殖事業について

議員 特産海産物の産地育成のこと、効率的な施工が可能のこと、工期の関係、更にこの事業については国の補助事

議員 産地の差し替えが問題となつてゐる今日、アサリ貝はやはり、稚貝を数年かけて養殖し、「豊前海の貝」として、掘る人に喜んでもらい、また、漁業の活性化、漁業経営の安定化に繋がるよう、市も努力してもらいたい。

農林水産課長 地元産の購入を図つてゐるが、今年は貝がなかなか集まらず、多少大きめになつたと聞いている。

議員 産地の差し替えが問題となつてゐる今日、アサリ貝はやはり、稚貝を数年かけて養殖し、「豊前海の貝」として、掘る人に喜んでもらい、また、漁業の活性化、漁業経営の安定化に繋がるよう、市も努力してもらいたい。

古川議員の質問

1 防災について

議員 6月から住宅への火災報知器の設置が義務付けられたが、周知はどのようにしているのか。また、普及率はどうか。

総務課長 広報誌、またポスター、各種イベント等を通じて、普及を図っている。

福岡県内の普及率は32・8%で、豊前市においてもほぼ同程度と考えられる。



議員 先般、合河地区で2名の方が火災で亡くなつた。私も消防団に属し、火災発生時メールが届くようになつてゐるが、文字が化け、意味不明であつた。緊急時にこれでは役に立たない。今後の対応をお聞きしたい。

総務課長 一部の携帯電話で文字化けが発生し、ご迷惑を

3 環境問題について

かけたが、その後のテストで完全に復旧した。個人の方が開発したソフトを利用させていただいてるが、不都合は市の責任であり、今後、改善点があれば関係者と協議したい。

議員 梅雨の時期になるが、大雨による浸水、河川の氾濫等に対しても対策はできているのか。

総務課長 過去の危険箇所を改修し、災害に強いまちづくりを目指している。

災害応急対策のために、市役所内部に災害特別出動班を8班編成し、土嚢の準備、器具の点検等行つてゐる。また、消防団、区長会等とも連携を強化し、素早い対応を取りたい。

2 市町村合併の今後の方向性について

議員 合併特例新法の期限内(22年3月)の合併は不可能と思われる。市長の考え方、方向性をお聞きしたい。

市長 第29次地方制度調査会の答申を受け、国は近く市町合併のあり方を示すものと思われるが、私の、「豊築は一つ」の考えに変わりはない。

合併とは別だが、総務省の定住自立圏構想により、県境を越えた自治体間の協力を推進したい。

うべきと考えるが。

財務課長 業務監査は行つてないが、いろんな形で市の職員が関与しており、チェックできていると思う。今後、補助金の適切な執行のために更に検討を加えたい。

お伺いしたい。相談件数についてもお知らせいただきたい。

まちづくり課長 市が今年3月に実施した緊急経済調査では、一部の企業で一時帰休やパート・臨時の雇い止めが確認されている。企業倒産については、融資に関する相談が主になつてゐるが、20年度は98件で、昨年度の9件から大幅に増えてゐる。

吉永議員の質問

1 世界同時不況が市に与えた影響について

議員 県内で普及助成金を支給している自治体もある。環境問題のためには是非進めていただきたい。

4 市が補助、出資している団体についての監査は

議員 市は財政が厳しい中、多くの団体に補助金等を出している。地域活性化のために必要なことだと考えるが、監査はどのようにしているのか伺いたい。

財務課長 事業年度終了後、関係資料の提出を願い、それに基づき検査を行つてゐる。内容等については、市報等で公表しております、また閲覧もできる。

議員 単なる金銭の監査ではなく、補助金が所期の目的に沿つてゐるか等、業務監査も行

地が平成19年3月で完売してゐるのか、新規企業立地の今後の展望はあるのか、お尋ねしたい。

まちづくり課長 東部工業団地が平成19年3月で完売して以来、工業用地確保を最優先課題としてきた。今後については、企業の動向を見ながら、新規企業誘致の早期実現を目指して鋭意努力したい。

議員 企業進出はどうなつてゐるのか、新規企業立地の今後の展望はあるのか、お尋ねしたい。

まちづくり課長 東部工業団地が平成19年3月で完売して以来、工業用地確保を最優先課題としてきた。今後については、企業の動向を見ながら、新規企業誘致の早期実現を目指して鋭意努力したい。

議員 企業進出はどうなつてゐるのか、新規企業立地の今後の展望はあるのか、お尋ねしたい。

まちづくり課長 東部工業団地が平成19年3月で完売して以来、工業用地確保を最優先課題としてきた。今後については、企業の動向を見ながら、新規企業誘致の早期実現を目指して鋭意努力したい。

能徳工業団地 北側造成予定地



議員 以前は、市役所の機構に勤労者福祉係があり、様々な労働相談に対する窓口を設けていたが、いつの間にかなくなつた。昨年からの深刻な不況に対し、どういう調査をし、どういう対応をしたのか、お聞きしたい。

総務課長 勤労者福祉係は、平成元年まで青少年ホームに所属していた。その後、婦人の家と兼務になつた時期もあるが、平成8年には再び専任体制となつている。そして、平成10年の機構改革で、青少年ホームと婦人の家が教育委員会の所管となり、勤労者福祉に関する業務は、まちづくり課商工振興係の所管になった。現在、4人体制で商工振興と併せて、労働相談、勤労者福祉に取り組んでいる。

議員 古賀市では、役所内に無料職業紹介所というコーナーを設けて、市民からの相談に対応しているとのことだ。市は、具体的に踏み込んだ対策をしているのか。

総務課長 緊急経済生活支援については、副市長を本部長とし、市を挙げて、全職員一丸となつて取り組んでいる。また、どのような組織機構がないのか、規律ある行政運営を念頭に置きながら、検討を導入している自治体は全国

議員 中小企業対策や労働者の雇用創出の関係で、国は大型補正の財政出動をしているが、豊前市が取り組もうとしている事業には、どういうものがあるか、お尋ねしたい。

財務課長 ふるさと雇用再生緊急雇用や農林水産業の活性化、道路・公園等の整備、JREエレベーターセット、県立築上北高跡地整備など、予算化している。また、国の緊急経済対策に基づいて、9月議会には、更に大きな大型補正を行う予定がある。

議員 古賀市では、役所内に無料職業紹介所というコーナーを設けて、市民からの相談に対応しているとのことだ。市は、具体的に踏み込んだ対策をしているのか。

福祉課長 高齢者の介護支援ボランティア活動実績をポンタ化し、ポイントに応じた交付金を交付することで、介護保険料の負担軽減、高齢者の健康増進、介護予防を推進する事業などがあるが、制度を導入している自治体は全国

的にも少ない現状である。今後は介護保険広域連合との連携のもと、導入している自治体の事業実績・効果・課題等について検証していく。

議員 全国的にも事例が少ないということだが、高齢者の社会参加、地域貢献そして介護予防につながると思う。是非前向きに検討してほしい。

議員 地域支援事業は、要支援・要介護状態にならないようにするための事業だが、市のサービスはどうのようなものか。**福祉課長** 65歳以上の高齢者で特定高齢者施策と一般高齢者施策に分かれ。現在、デイサービス・配食サービス・訪問指導等を行つている。

議員 集落密集地の防火水槽の設置計画は、どうのようになつてているか。

2 豊前市の防火体制について



1 介護支援制度について

福井議員の質問

議員 介護保険制度における地域支援事業として、高齢者の介護支援ボランティア活動を推進する事業があるが、豊前市もその取り組みをする考えはあるか。

総務課長 何戸に1基といふような規定はない。地理的な状況と危険度の問題、地元の用地の確保など総合的に判断している。上水道が通っていないため、消火栓が設置できない地区は、極力増やしていくたい。

議員 乳幼児医療助成制度の対象年齢を引き上げる考えはないか。

市民健康課長 対象年齢引き上げとなると県の制度の対象

の設置を計画的に推進してきただけで、各市の状況も異なり、今後は各市の状況を確認しながら検討していく。数は、
・ 消火栓 147箇所
・ 消火水槽 588箇所

議員 豊前市にとつて少子化対策につながると思うが、少しの軽減でもやってみる努力をしてはどうか。

議員 上毛町・築上町と連携をとりながら、また、各市町村の動向も見ながら、財政的な問題も含めて、この点については精査していきたい。

3 子育て支援について

1 グリーンニユーディールとスクールニユーディールについて

鎌田議員の質問

議員 国は、日本版グリーンニユーディール政策を打ち出し、低炭素化、エコ化を推進するとともに、緑の社会への構造改革を目指している。地方も積極的に取り組むことが要請されるが、本市の状況はどうか、お聞きしたい。

生活環境課長 今年度から、豊前市地球温暖化対策実行計画の策定に着手する。また、国のグリーンニユーディール基金が各都道府県・政令指定

基金が各都道府県・政令指定

都市に配分されるので、二酸化炭素削減に向けて、関係課と協議の上、取り組んでいくたい。

議員 スクールニューディール構想は、学校施設における耐震化やエコ化、ICT（情報通信技術）化を集中的に推進しようとするものだが、本市の進捗状況はどうか。

教育課長 現在、各学校での導入を検討しているのは、デジタルテレビや電子黒板、コンピューター等で、今後財政当局と相談しながら、できるものから設置していきたい。

2 校庭の芝生化について

議員 校庭の芝生化が全国的に進んでいるようだが、校庭の芝生化は、緑化はもとより、子どもたちが思いきり体を動かすことができたり、雨水を吸収し、気温の上昇を防ぐなど、大いに期待できるものと考える。市としての見解をお聞きしたい。

教育課長 学校の運動場は、総合的に体育一般ができるようにしておかなければならず、芝生化は、体育の授業、クラブ活動に不都合が生じることも考えられる。芝生の管理上の問題もあり、現時点では芝

生化は考えていない。

議員 鳥取芝という品種は、値段も非常に安く、維持管理も一般の人でもできるということで、全国に広がってきているようだ。市としても、検討していただきたい。



3 父子家庭への取組みについて

議員 父子家庭は、全国で約15万世帯あると言われている。中には、収入の少ない父子家庭もあり、男女平等の立場から母子家庭と同様の措置をする必要があると思われる。豊前市では、父子家庭がどのくらいあるのか、また、父子家庭に対する基本的な考え方はどうか、お聞きしたい。

4 レジ袋削減への取組みについて

議員 校庭の芝生化が全国的に進んでいるようだが、校庭の芝生化は、緑化はもとより、子どもたちが思いきり体を動かすことができたり、雨水を吸収し、気温の上昇を防ぐなど、大いに期待できるものと考える。市としての見解をお聞きしたい。

教育課長 学校の運動場は、総合的に体育一般ができるようにしておかなければならず、芝生化は、体育の授業、クラブ活動に不都合が生じることも考えられる。芝生の管理上

の一環として、レジ袋の削減が全国的な広がりを見せているが、豊前市の取組みはどうか、お聞きしたい。

生活環境課長 平成19年4月1日施行の改正容器包装リサイクル法により、レジ袋、容器包装の削減が義務化された。

市としても、マイバッグ持参の推進運動を行っている。今後、レジ袋の有料化などについて、市内小売店や商工会議所など関係機関と協議しながら、レジ袋の削減に取り組んでいきたい。

山本議員の質問

1 後期基本計画 目標達成のために

議員 現在の市の人口は、残念ながら2万8千人を切り、3万人から遠ざかたという印象があるが、市長は、どのような対策を考えているか。

福祉課長 父子家庭の世帯数については、把握できていない。今後、父子家庭の抱える課題の解決に向け、実態や二

どのような設計・計画になつてているのか、お尋ねしたい。また、市民の声や意見を反映しているか、お聞きしたい。

議員 築上北高跡地で進めている3つの文化施設の件だが、

教育課長 図書館の実施計画はほぼ完了し、改修工事の発注に向け準備を進めている。

議員 文化財センターと多目的ホールについては、基本設計に基づき、実施設計を行っている段階で、今年度以降の改修工事を予定している。図書館については、昨年秋にパブリックコメントを募集した。文化財センター・多目的ホールについても、今後、意見を聞く予定にしている。

農林水産課長 現在、JAの野菜部会や果樹部会で環境にやさしい農業の振興と消費者の信頼を得る農作物の供給を図るため、家畜排出物を有機質肥料として堆肥化し、野菜、果樹に施肥を行っている。今後、さらに循環型農業を推進する上で、堆肥化して鶏糞等の利用の拡大に向け、JAとも協議を進めていきたい。

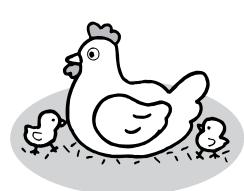
議員 JAが薬師寺にデイサービスセンターを開設するという計画があるようだが、上下水道の整備計画についてお聞きしたい。

上水道課長 上水道については、第8期拡張事業計画の給水区域に入っているので、水道を整備する。また、下水道については、農業集落排水施設への接続は、地元区長の同意があれば利用が可能だと伝えている。

議員 築上北高跡地で進めている3つの文化施設の件だが、

どのような設計・計画になつてているのか、お尋ねしたい。法に対する支援をすべきだと思うが、市の考えをお尋ねしたい。

議員 養鶏場の鶏糞を土に返らせ、野菜作りに利用する、循環型農法は、農業経営を維持・継続できる農法の一つだと感じている。市は、この農法に対する支援をすべきだとと思うが、市の考えをお尋ねしたい。



議員 中村雇用促進住宅の利用については、委員会が設置されたようだが、その中身についてお尋ねしたい。

建設課長 雇用促進住宅豊前宿舎譲渡・活用委員会を立ち上げ、5月に初会合を開催した。譲渡後の活用については、入居資格等の骨格が固まれば、住宅条例を制定したい。

議員 住宅に関する条例を作るこということだが、大きな改点があればお聞きしたい。

建設課長 現行は入居に際し色々な条件や制約がある。今は、Uターンや若い世代、あるいは独身の受入れなど様々な角度から検討して、住宅の整備を図りたい。

レミアム商品券発行や防災、橋梁の耐震調査、総合文化施設整備事業に充当し、施設の充実を図っている。基金については、21年度当初予算に再計上し、事業の促進を図つていくこととしている。

議員 基金は、文化施設の建設に充当しているので、国が目指していることと違うのではないか。

市長 国から交付されるお金の使い方はいくつかある。市としては、総合計画の後期基本計画に則ったやり方をすることが市民の幸せになると思っている。

議員 素晴らしいまちづくりをするには、人材育成と魅力だと思うが、どのようにお考え本計画に則ったやり方をするか、お聞きしたい。

総務課長 職員のやる気や組織全体の士気・能率向上等々を根本基準に公正に人事評価をするよう努めている。地方分権が大きく進展している今日、市民の信頼に応える人材育成を目指していきたい。

2 都市基盤整備と道路整備について

議員 都市基盤整備、道路整備は一体であるべきと思う。定住自立構想、合併を見据

えた道路網の整備をどのようにお考えか、お聞きしたい。

市長 道路整備には莫大な費用と時間を要することから、他の事業との関連を図りつつ、長期的な視点に立つて計画的に整備をしていきたい。今後、定住自立構想の関係もあり、国道・主要地方道と地域を結ぶ交通ネットワークを確立することが重要と考えている。

議員 臨海工業線の整備を早く行き、能徳工業団地に乗り入れできるようにすべきと思うが、いかがか。

市長 橋を架けたり、埋立てをしたりという課題はあるが、関係機関と協議をして進めていきたい。



3 教育指導要領及び教育指導計画について

議員 学習指導要領や教育基本計画等の点検・指導はどのような方法でされているのか、お尋ねしたい。

教育長 各学校の教育指導計画は、学習指導要領を基に、校長が編成をし、毎年教育委員会に提出することになつていて。また、毎月、各小・中学校の校長会を教育委員会が開催し、順調に実施されているか、時数の欠落がないか等々について、指導を重ねて行つてている。

議員 教育委員会として、これは絶対やりたいという今年度の目標があれば、お聞かせいただきたい。

教育長 子どもの生きる力を育む特色ある教育活動を展開し、進化させるというのを、大きな推進目標に掲げている。

議員 私は、教育長が「豊前市ではいいじめがあった。そのことを忘れないで教育行政を進めていく。」と言われるのかと思った。残念だ。

岡本議員の質問

1 農業の振興について

議員 農業の振興について、これまでの交付補正予算是、年度末での交付となつたので、21年度に全額繰り越して執行している。普

てもらいたいが、高齢化、後継者不足等で逆に耕作放棄地が多くなっている。市の対応はどのように考えているのか。また、農家民泊、山村留学等の施策も考えられないか。

農林水産課長 高齢者の農業を担うため、認定農業者、担い手、集落営農組織の育成を推進し、地域の農業を守つていきたい。

議員 中山間地において、NPO法人を組織し、地域の振興を図ることも一つの方法と考えられるが、NPOは行政施設等の指定管理者となれるのか。

財務課長 受け皿として可能であれば、市としても支援したい。

議員 ほ場整備に関連して、お伺いしたい。整備後の道路の管理はどうになるのか。

農林水産課長 事業完了後、地域の状況により、市道、農道に区分する。市道は市道認定を行い、市が維持管理を行う。それ以外は農道として位置づけ、受益者による管理となる。

議員 地域によつては防災上の重要な道路もある。認定の

見直しを行い、拡幅等改良を行っていただきたい。

山間部のほ場法面の固定資産税はどうなっているのか。

税務課長 鑑定評価のマイナス面が加味され評価額が下がっている。



角田雇用促進住宅

2 市営住宅今後の計画について

議員 現在、上町南団地の2棟目が建築されているが、今後の予定、入居方法について伺いたい。

建設課長 角田の雇用促進住宅を取得予定であり、既存保有住宅の活用も重要なと考える。上町団地の北側については、市民のニーズ等を調査し、今後、計画書の策定を検討したい。

3 庁舎及び周辺施設の利便性について

議員 市役所ロビーの喫煙コーナーが撤去され、外で吸っている人がいる。見た光景は良くない。外来者のためにコ

ーナーを存続すべきではないのか。またタバコ消費税はどの程度、収入されているのか。

1 人口増対策について

議員 市内の若者定住の促進や市外から若者を呼び込む狙いとして、住宅の新築時に、助成金を交付する制度を設けたらどうか。

財務課長 新築に対する財政支援については、財政的に厳しい状況である。

財務課長 まずは固定資産税の税率を下げること。また、議員が言われた件は検討していきたい。

議員 豊前市がいま、確保している分譲地はどれくらいあるか。

財務課長 赤熊南土地区画整理事業内に16区画と公売物件3件がある。また、角田の雇用促進住宅120戸の買取りを進めている。若者の定住促進につながるよう積極的な利活用を進めていきたい。

財務課長 市役所周辺には職員用を含め400台が駐車可能であるが、イベント等で不足することもある。今後、施設利用者に不便をかけないよう対応したい。もし職員の車

があれば、厳しく注意したい。

議員 自治会(区)に加入・未加入などの世帯数はどれくらいあるのか。

総務課長 3月1日現在で、全世帯1万1485世帯で、加入世帯は8977世帯、78・16%である。近頃は、近所付き合い・色々な行事・世話人等あまり関わりたくないという理由で加入しない世帯が増えている。

議員 地域の安心・安全なまちづくりにとっては、大切な組織であるので努力していきたい。

議員 世話を人等あまり関わりたくないという理由で加入しない世

徒の志願書を精査の上、協議している。

2 学校教育の充実について

議員 中学校統廃合について答申から4年経過したが、再度、議論すべきではないのか。

教育長 平成17年11月に多様化する学校教育・将来の児童数・教育効果を考え中学校統合を進める方向で答申が出された。今後、市教育委員会で議論を深めていくようお願いしたい。

議員 特別支援学級の教師は専門資格を持たなくていいのか。また、学校の管理体制はどうなっているのか。

教育長 専門資格を持つている教員は非常に少なく、資格をもつていてない教員が担任をしているケースが多い。この

3 定住圏構想の進捗状況について

議員 中津市との定住自立圏構想の進捗状況を伺いたい。

市長 中津市が中心市となり、周辺市町村と9月に定住自立圏形成協定を締結する予定となっている。連携項目として、医療、公共交通、人材の育成を軸に協議を進めていきたい。

議員 豊前市バスを中心として、中津市民病院の医療体制を充実して頂きたい。周辺市町村と連携をとつて取り組んでもらいたい。

教育長 中学校の進路指導に

おいて校内推薦委員会を設置。志望校に対する目的意識が明確であること・中学3年間の全教科・全領域での取組み方・実績を検討し、減灯できれば実施したい。



議員 高校推薦入試を受けられる基準を教えてほしい。

教育長 中学校の進路指導に

次の定例市議会は 9月

議会へのご意見をお寄せ下さい

豊前市大字吉木955
TEL.82-1111 内線1311
<http://www.city.buzen.fukuoka.jp>

議会を 傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。多数の方の傍聴をお待ちしています。

会議録閲覧のお知らせ

議会だよりの内容は、議会の様子を要約したものです。会議の詳細を知りたいかたは、総務課・議会事務局にある会議録をご覧ください。

また、豊前市のホームページにも「会議録」を掲載していますので、ご覧ください。

- ◆ 発行：豊前市議会
- ◆ 編集：編集委員会
- ◆ 印刷：上森印刷所

編集委員

委員長 山本 章一郎
副委員長 鎌田 晃二
委員 今木 文徳
委員 榎本 義憲
委員 福井 昌文

市議会だよりは資源保護のため再生紙を使用しています。

議会制度調査特別委員会を設置

議会基本条例の制定を中心として議会制度のあり方を調査・検討するに立って市の行政を監視するとともに、政策提案できる議会への脱皮を図り、開かれた議会をめざして、様々な角度から調査検討をします。議会の活性化に向けて、議員一丸となって頑張ります。市民の皆さんからの貴重なご意見をお待ちしています。



議会制度調査特別委員会の委員は、次のとあります

氏名	選出区分	備考
吉永宗彦	健友会	委員長
榎本義憲	豊友会	副委員長
山崎廣美	新世会	
爪丸裕和	同志会	
尾澤満治	ぶぜん風の会	
鎌田晃二	無会派	
秋成茂信	議長	
中村勇希	副議長	
古川哲也	議会運営委員長	



全国市議会議長会表彰

磯永優二議員が、5月27日に東京で開催されました、第85回全国市議会議長会定期総会におきまして、10年にわたって市政の振興に努めた功績が認められ、表彰されました。

編集後記

市長選後初の6月定例会は、過去3度の選挙後の初議会とは異なり、落ち着いたムードの中で開会し、釜井市長から、選挙戦で掲げた公約が改めて表明された。

市の人口が2万8千人の大台を割り、総合計画の目標人口からさらに遠ざかった感がある。これとは逆に、この数年生まれてくる新生児の人数が前年を上回っている。自動車の生産拠点として働く場が確保され、若い人が定住できつつある証した。

市は、国から示された定住自立構想の協定を中津市と結ぼうとしている。市バスの中津市への乗り入れ、中津市民病院を中心にした医療体制の充実が期待できる。大分県立高校への通学も今後の協議事項にしたい。4期目の釜井市政に、『定住自立』の夢を形にする責任が課せられた。

山本 章一郎